

網走ほんりゅう組

第 387 号
網走教職員組合
〒090-0836
北海道北見市東三輪83-35
TEL.0157(31)7551
FAX 0157(31)7559
5月 1日

第83回メーデー 労働者の力を結集して

五月一日、北見駅前広場で第八三回メーデーが開かれ、北見労連に結集する労働者や民主団体や一般市民など、二〇〇人以上の労働者が集まりました。

集会の冒頭、メーデー実行委員会を代表して、北見労連の森田議長が、東日本大震災の被災地の一日も早い復興と、原発事故に対する政府と東京電力の責任ある対応について強く要求するとともに、TPPへの交渉参加などの暴走を許さないために、国民と労働者がたたかいを発展させる決意を固めよう場にしていこうと、挨拶しました。

五月一日、北見駅前広場で第八三回メーデーでは、各団体・労働組合から怒りの訴えがあり、闘う決意を表明するたびに共感と激励の拍手がわき起こりました。六時過ぎからは、各団体の工夫されたかぶり物や「原発ゼロ」などと書かれたプラカードやゼッケンを掲げ、参加者全員で中心街を一周するデモ行進を行いました。

春の訪れが例年よりも遅れた北見市でも、五月一日のメーデーに合わせるかのように一気に雪解けが進み、この日は、日中の気温が二度にもなりました。集会の間も

今年度第1回まなびバ～学級づくり～



5月12日(土)、春だというのに雪が降りしきる中、北見西小学校に6名が集いました。まずは①大坪先生から、実習生向けに作成された資料を使って、今の子ども達の現状や、教師の実態を話し合いました。忙しいがゆえに結果をすぐ求めてしまい、管理的な教育をしてしまう教師たちと、ストレスを感じている子どもたち。もっと子ども達の成長に合わせた、学級づくりやルール作りの大切さを話し合いました。

②若狭先生からは、学級懇談会資料をもとに、どんな学級にしたいのかという思いや熱意の大切さを話しました。“安心して頑張れる教室”を土台にしたいと語る若狭先生に、参加者からも「見習おう」という声があがりました。③”遊びの中から学びを“を基本に、子どもとの関わりを大切にしている、山本先生(現在小学1年生担任)は学級通信を見せてくれました。臨採から現在にかけての経験から、めんどくさい事や時間のかかることが実は子どもたちの成長の近道なのでは?という気付きがありました。そして今は、色々としぼりのある教育の中で、いかに自分の色を出すかが腕の見せ所です!と書いていました。何でも出来るできる年長さんから、何にも出来ない1年生ではなくて「あれもできる」「これもできる」と認めてあげる所から始めるのが大事だという話し合いがなされました。

3名の先生方の発表を踏まえ、「子どもたちに、やらせてみる、失敗をさせてみる、そして励ます」ことが大事、でもその時間がなかなかとれないのが教師側の問題である。という確認がなされました。もっと精神的にゆとりをもって、子ども達と関わりたい、成長をしっかりと支えていきたいと感じました。

組合費についてのお願い 皆さん、4月の組合費の納入はお済みですか? 各支部の会計担当の方は、組合費の送金と共に、「4月分組合費内訳」(記入用紙配布済み)を、本部までFAXで連絡願います。併せて今年度の各組合員の組合費の報告もお願いしています。こちら用紙を配布していますので、支部全員の組合費の金額を記入の上、FAXにて連絡いただきたいと思います。よろしくお願いたします。(本部会計若狭)

【重要なお知らせ】
組合の電話番号0157-31-7559はFAX専用になりました!
通常の通話は 0157-31-7551にお願いします!!

裏に勤務実態調査についての記事もあります。ご覧ください。

日中の影響で気温が高く、春の風を感じながら行進をすることができました。網走教組の参加は、今年も遠軽支部の人たちが加わったものの、全体としては七人ほどでしたが、現役を退いた道退教の人たちはとても元気でした。今年で八〇歳になる宮津先生を筆頭に、私たち現役組合員をはるかに超える数の人たちが参加していたのには驚きです。退教の人たちからたくさん元気ももらったメーデーでした。



来年のメーデーには、退教の人たちに負けないように、より多くの組合員で参加したいものです。